

環境月報

*Environmental Activity
Monthly Report 4.April*

4
'12 Apr.1~30



サンシングループ

サンシングループ環境方針



環境理念

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果を追求し、継続的な製品供給とRoHS対応製品の開発など地球環境にやさしい先進技術を通し、電機業界および社会へ貢献して参ります。とくに、地球環境保全のための諸活動を重要なCSRと認識し、継続企業としての責務を果たしつつ、将来にわたり地球環境の保全に貢献して参ります。

環境方針

1. 事業活動において、省資源化、廃棄物質の削減、環境関連物質の管理を徹底し、環境の維持・改善および環境汚染の予防をはかって参ります。
2. 環境に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスを徹底して遂行し、環境保全に貢献して参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた具体的な目的・目標を設定し、数値により管理できる判りやすい環境管理システムを構築・運営して参ります。
4. 環境管理システムは、定期的な内部監査・マネージメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な継続改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一歩一歩、着実に具現化して参ります。

平成19年8月24日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗

今月のグループ代表の一言

今月のグループ代表の一言



東日本大震災の瓦礫問題が山場を迎えている。当初はネガティブであった地方公共団体が、ここに来て、瓦礫受入れを相次いで表明している。「絆！」ということを錦の御旗にして、瓦礫処理は日本全国に展開しつつある。ただし条件は厳しく、「放射能は暫定基準値以下」であることを高らかに謳うことが前提となる。そのなかで、住民の反発との話し合いが行われ、民主主義の手続きをもって処理が行われる。しかしながら、結果としては、おそらく「レトリック」と最後は「ごり押し」で、多くの処理は強行されるだろう。地方公共団体は、瓦礫処理における補助金が何としてでも欲しい。放射能は基準値以下だが、つまり放射能はゼロではないということ吐露していると同然。客観的に考えて、時間をかけてでも、放射能を含む瓦礫は、放射能を出した場所に戻すべきである。放射能は、直ぐには消え去ることはない物質なのだから。原発設置の際にも「補助金」。放射能入り瓦礫処理も「補助金」。この国の放射能対策は、金でなんとかなるらしい。

ところで、いまだに、放射能が「環境問題」としてクローズアップされる気配は一向にない。我々民間企業はRoHS規制など、政府援助なく自力でコストをかけて対応・処理している。政府と民間、環境に対する、この大きな意識の差はいったい何なのだろうか。どのように理解し、解釈すれば良いのだろうか。民間企業における環境対策とは、いったい何か。再度、そもそも論から見直す必要があるのではないか。あまりにも大きな、そして、あまりにも馬鹿げている問題に対して、解法が見当たらない。

SANSHIN GROUP
代表 石井宏宗

4月号 INDEX

4月号 INDEX



- PAGE 1 ……今月の表紙
- PAGE 2 ……サンシングループ環境方針
- PAGE 3 ……今月のグループ代表の一言
- PAGE 4 ……INDEX
- PAGE 5 ……今月のトピックス

PAGE 5 … ペットボトルのリサイクル

各管理項目の今月の状況

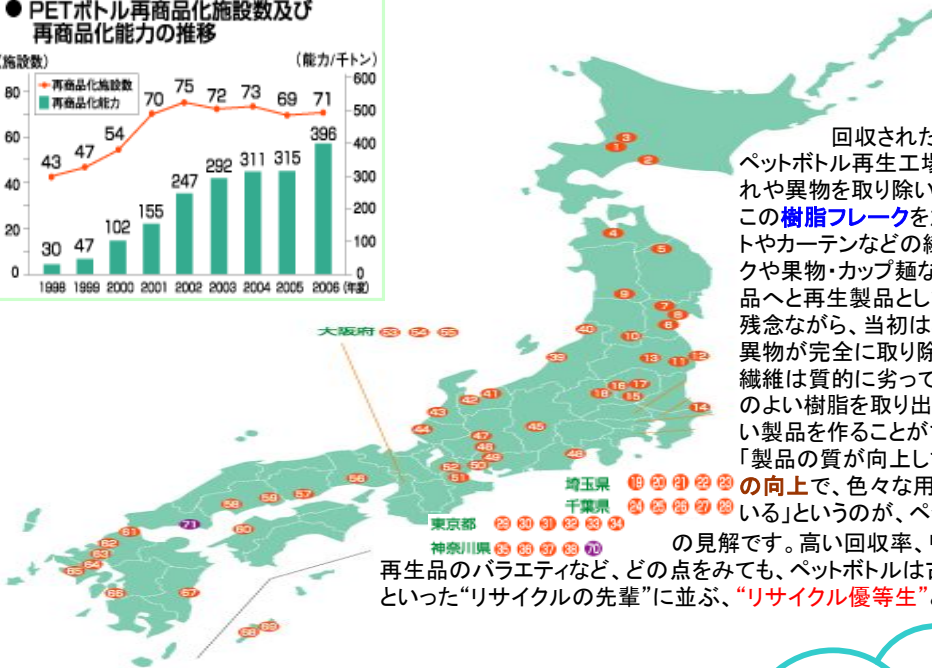
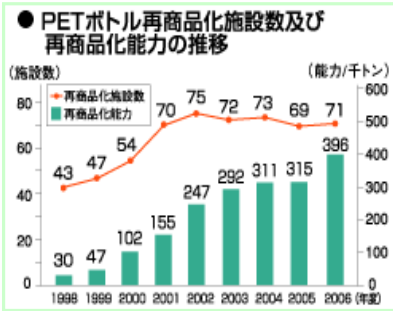
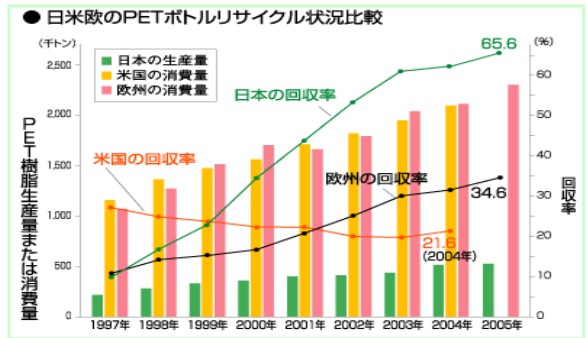
—各項目の今月の監視測定結果詳報—

- PAGE 6 …… ECO検定(グリーン購入)
- PAGE 7 …… 各廃棄物(SSD/本社)
- PAGE 8 …… 各廃棄物の割合(SSD/本社)
- PAGE 9 …… ペットボトルのキャップ(SSG)
使用済み切手(SSG)
- PAGE 10 …… コピー用紙使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 11 …… 電力使用量(SSD/本社・関西)
- PAGE 12 …… 電力使用量(SKW/朝日)(SFN)

今月のトピックス

ペットボトルのリサイクル

1997年4月、「容器包装リサイクル法」が**ペットボトル**に適用され、本格的な**リサイクル**活動が開始されました。コンビニやスーパーを始め、各市町村でも回収を行なったため、回収量は飛躍的に増え、一時的に再生処理能力が回収量に対処しきれない事態も生じました。しかし、東京ペットボトルリサイクル株式会社が2000年4月からペットボトルの再生処理を開始したこともあり、処理能力は大幅にアップ。2004年には食品安全委員会より「化学分解法による再生PET食品容器包装については従来のPET(石油由来のPET)と同様の用途内で仕様可能である」との見解から、帝人ファイバー株式会社の**ボトルtoボトルプラント**の稼動など、再商品化施設の数は増加し、現在、日本は先進国の中でも**最高水準の回収率**となっています。



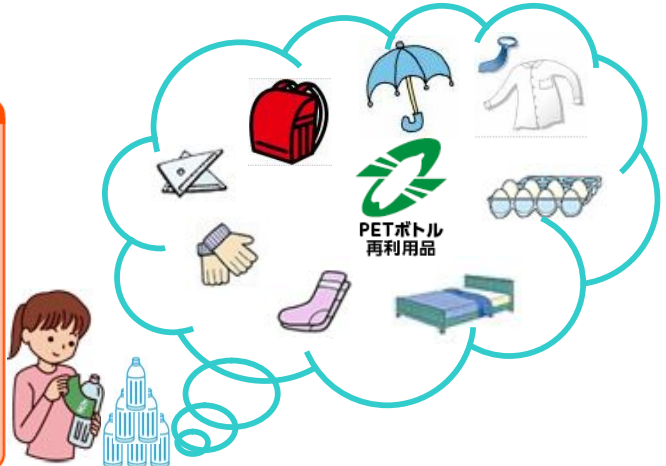
回収されたペットボトルは、近年増加したペットボトル再生工場に運ばれ、何度も洗浄して汚れや異物を取り除いたのち、フレーク状にします。この**樹脂フレーク**を加工し、制服・作業服、カーペットやカーテンなどの繊維製品、また近年では卵パックや果物・カップ麺などの仕切トレーであるシート製品へと再生製品として生まれ変わっています。残念ながら、当初は異物が混ざっていたり、汚れや異物が完全に取除けなかったり、どうしても再生繊維は質的に劣っていましたが、最近ではより品質のよい樹脂を取り出す技術が開発され、より質のよい製品を作ることができるようになってきました。「製品の質が向上してきたことや消費者の**環境意識**の向上で、色々な用途への展開が可能になってきている」というのが、ペットボトルリサイクル推進協議会の見解です。高い回収率、リサイクルのしやすさ、作られる再生品のバリエーションなど、どの点を見ても、ペットボトルは古紙やガラス、スチールやアルミといった“リサイクルの先輩”に並ぶ、“**リサイクル優等生**”といっておよそです。

分別収集にご協力ください

- 1 識別表示マークを確認してください。
- 2 キャップは必ずはずしてください。
- 3 中をすいでください。
- 4 横方向につぶしてください。ひび割れやラベルがはがれやすくなります。
- 5 ラベルはできるだけはがしてください。
- 6 市町村のPET収集日に排出してください。

プラスチックの識別表示マーク
清涼飲料、しょうゆ、酒類、乳飲料専用のPETボトル及びプラスチック製ボトルにこのマークがついています。

PETボトルと分別して排出してください。市町村の分別方法に従って排出してください。



サンシングループでは、ペットボトルとキャップをそれぞれをリサイクル出来るように分別・回収しています。今後もご協力をお願いいたします。(事務局)

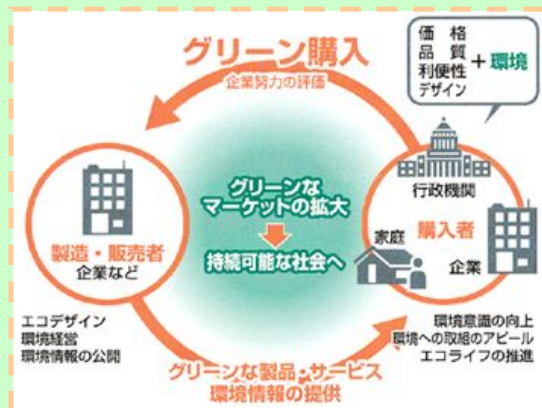
グリーン購入

グリーン購入とは？ … 購入者が商品を購入する際に、価格・品質・利便性といった購入条件に加えて、**環境**にも配慮することです。
グリーン購入をすることにより、市場を通じて企業の環境経営・商品開発を促進し、持続可能な社会の構築を促すことができます。

価格・品質・機能・デザイン+環境=環境配慮型商品

グリーン購入促進のため、2000(平成12)年4月「**グリーン購入法**」が全面施行されました。この法律では、以下のことが定められています。

- ①国の機関はグリーン購入が義務づけられる(各省庁が「調達方針」を毎年作成、実績を環境大臣に報告・公表します)
- ②地方自治体は努力義務を負う(毎年、調達方針を作成し、調達するように努めます)
- ③企業・国民もできるかぎりグリーン購入に努める
- ④国はグリーン商品等に関する情報を整理・提供する



グリーン購入は、商品についている環境ラベル・グリーン購入ネットワーク(GPN)の情報・企業のカatalogなどで情報を得て行われます。

購入に当たっては…

- 1) 必要なものを必要なだけ購入する
- 2) 使い捨てでなく、長持ちするものを選ぶ
- 3) 廃棄するまでを含め使用エネルギーの少ないものを選ぶ
- 4) 化学物質による環境汚染や健康への影響の少ないものを選ぶ
- 5) 自然や野生生物の影響を考慮して選ぶ
- 6) 包装がないもの、少ないものを選ぶ
- 7) 近くで生産されたものを選ぶ
- 8) リサイクルされた又はリサイクル可能なものを選ぶ
- 9) 環境問題に熱心に取り組んでいるメーカーやお店を選ぶ

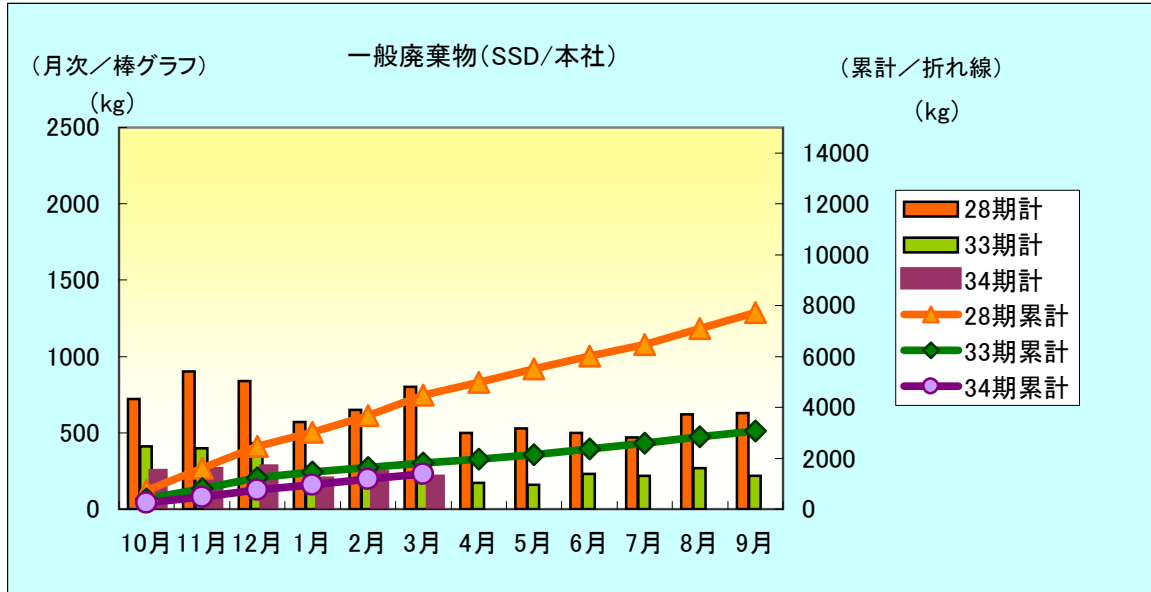
グリーン購入の対象となる商品は、グリーン電力・環境配慮型のガソリン・森林認証の製品・生分解性プラスチックなど、エネルギーや資材にまで広がっています。今後さらに、さまざまな製品・サービスに環境の負荷価値がつけられるようになるでしょう。また、グリーン購入は、高い買い物というイメージがあります。しかし現在はライフサイクルコストの費用が低下し(例:省エネ製品・詰め替え製品)商品そのものの価格が低下しているものも多く、日常的にも購入できる商品が増えています。

グリーン購入が今以上に普及していくためには、企業や団体だけでなく、一般消費者にグリーン商品がどこで購入できるか、またグリーンメーカー(事業所)はどこにあるのかについて、容易に知ることができるかどうか鍵になります。環境ラベルを意識した購入で、持続可能な社会に貢献しましょう。



サンシングループでは、コピー用紙や文房具等、グリーン購入に努めています。(事務局)

SSD(本社)

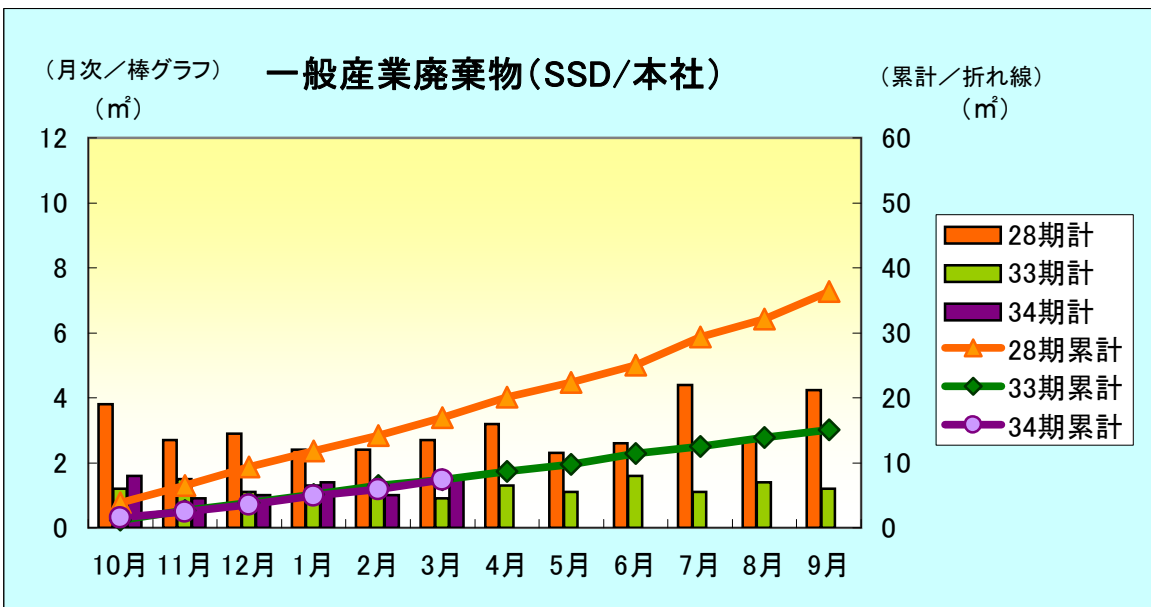


考察:

今月は前年累計比、約23%削減しています。

(事務局)

SSD(本社)



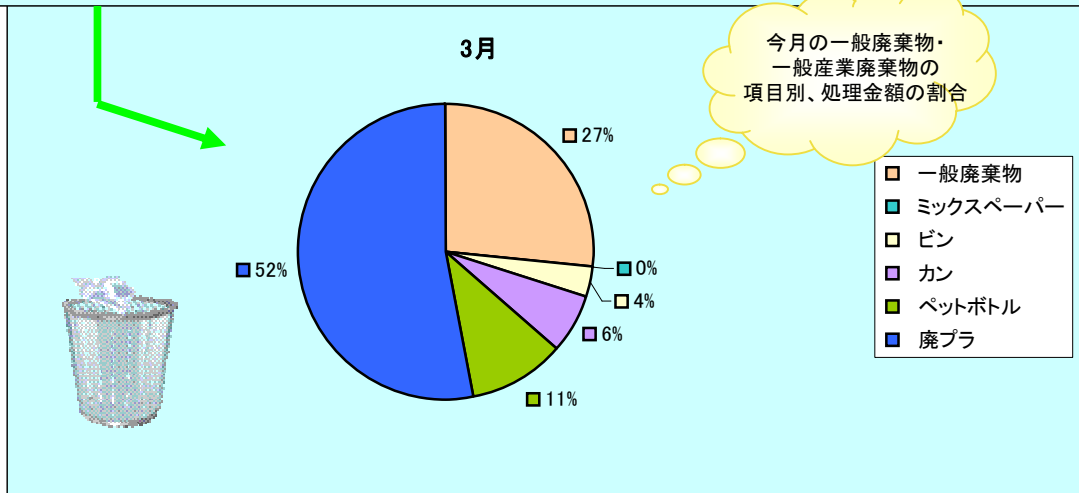
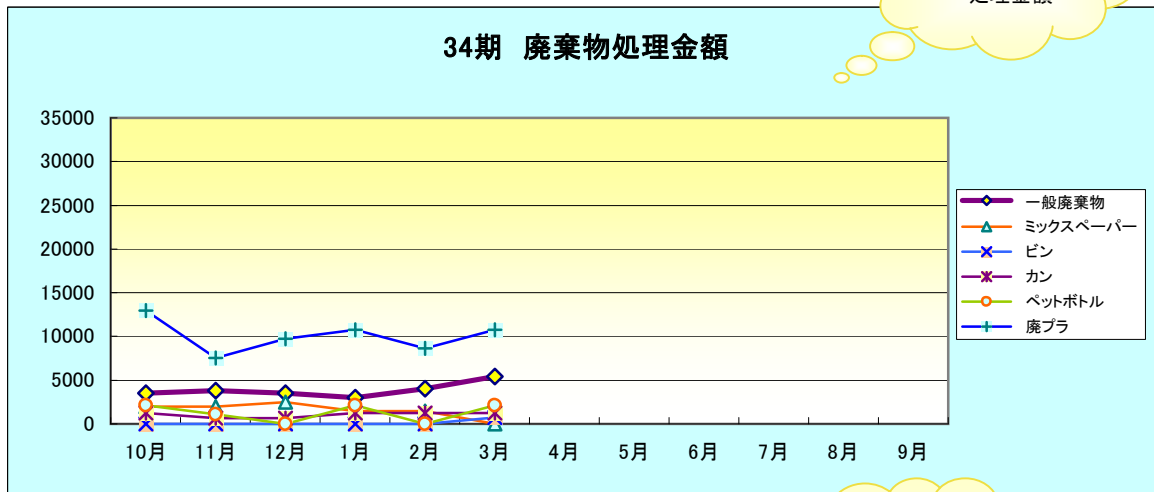
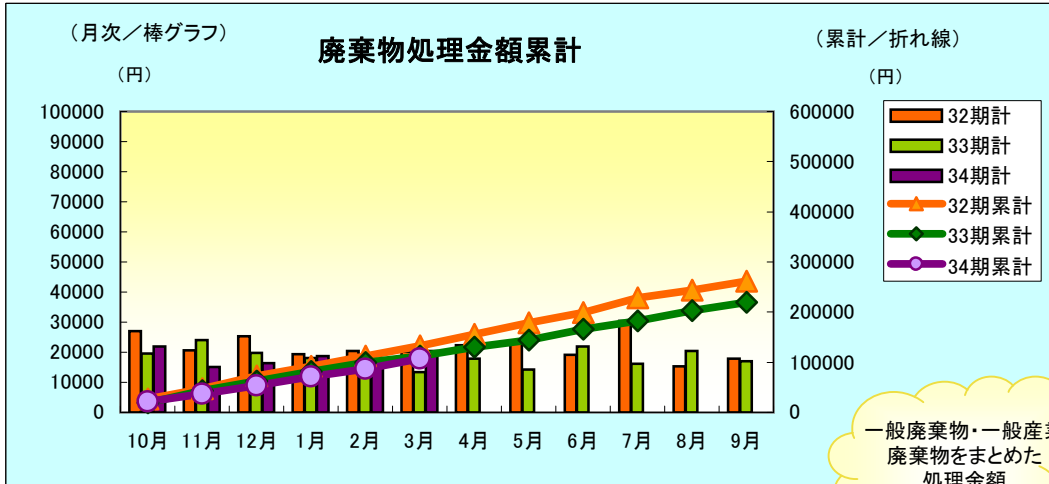
考察:

サンシン電気(本社)2Fの実験室等で出た、廃棄部品・基板などが次の価格で売却処理できます。

基板…15円/kg 部品屑…15円/kg 配線屑…20円/kg トランス…10円/kg

(事務局)

SSD(本社)



考察:

年々減少しつつあるものの、常に廃プラの割合が多くなっています。
なるべくかさばらないような廃棄方法を工夫して頂けますよう、ご協力を
よろしくお願いいたします。(*^-^)/\(^-^*)

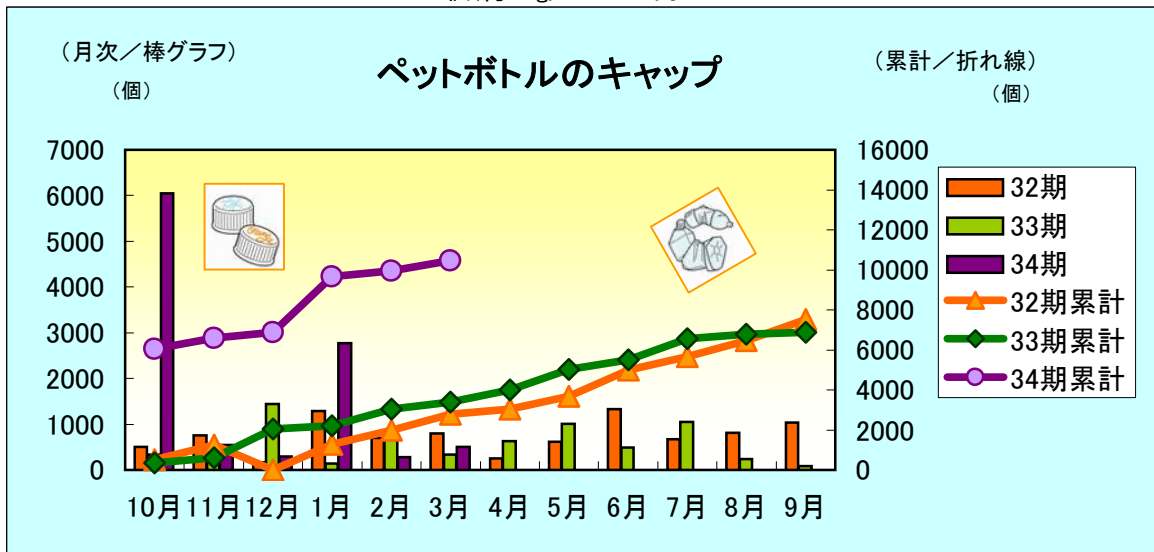
(事務局)

全社活動項目 (Part-4/7)

ペットボトルのキャップ

SSDグループ全社

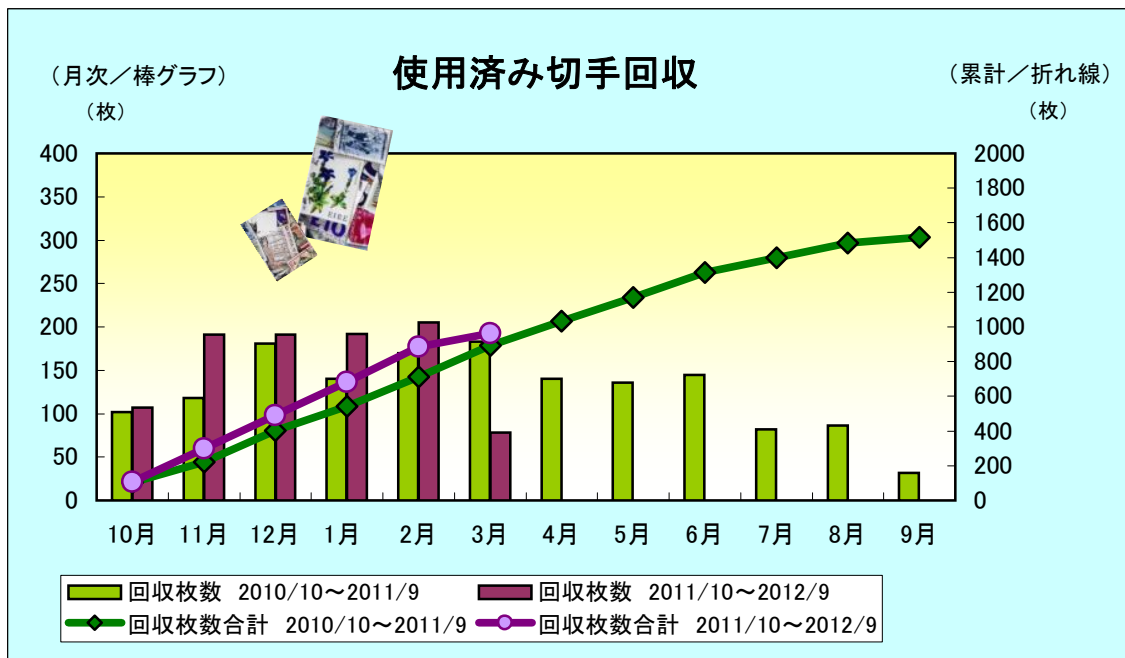
換金率: PETボトルキャップ
400個(約1kg) = 10円



考察:

引き続き、エコキャップの回収に、ご協力をお願いいたします。(事務局)

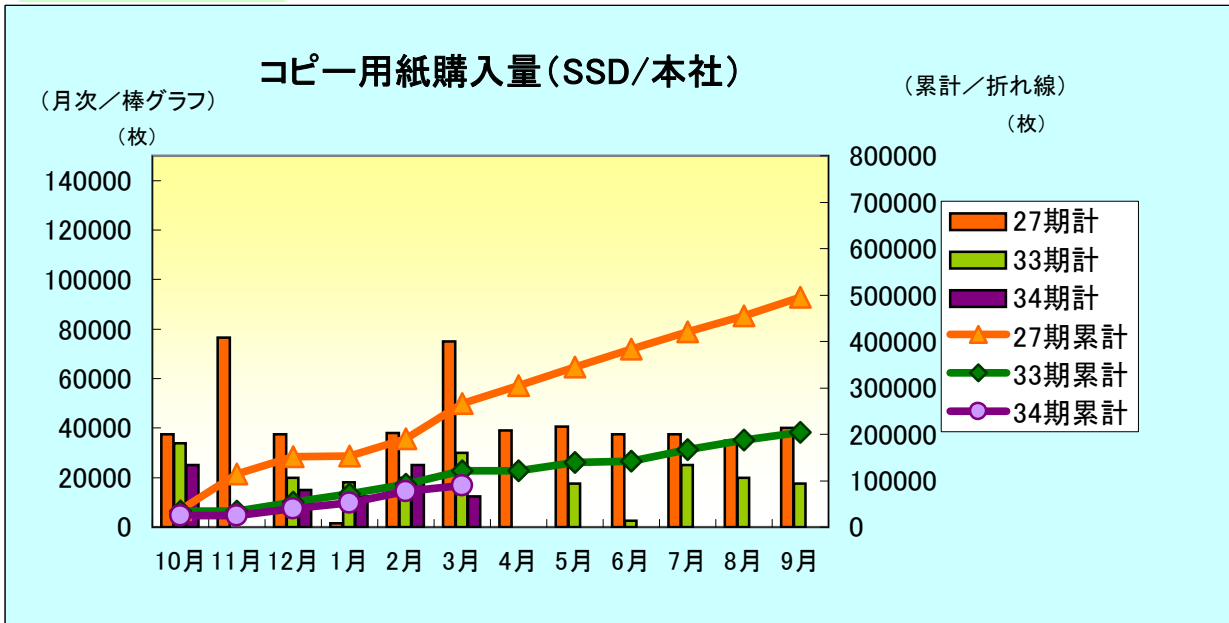
SSDグループ全社



考察:

封筒に貼ってある切手を回収しています、ご協力宜しくお願いします(^-^*)/
(事務局)

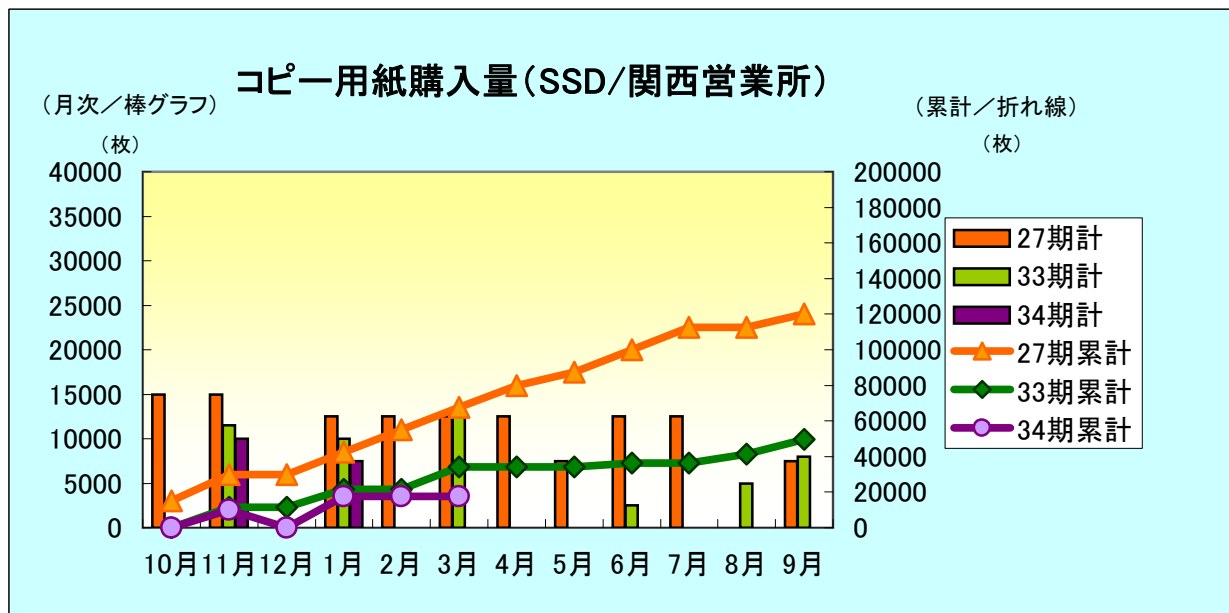
SSD(本社)



考察:

購入量を、年々減らすことが出来ております。
裏紙を上手に利用して、コピー用紙の削減に、ご協力をよろしくお願いいたします
(事務局)

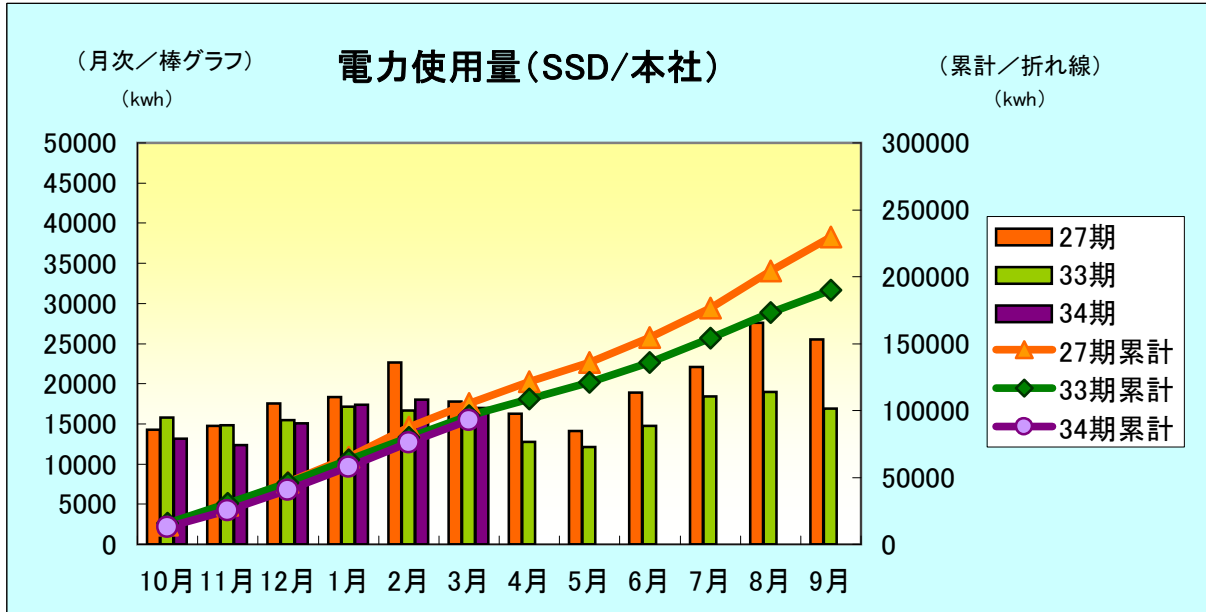
SSD(関西営業所)



考察:

34期は前年比より大幅増加しないよう、経過観測中です。
(事務局)

SSD(本社)

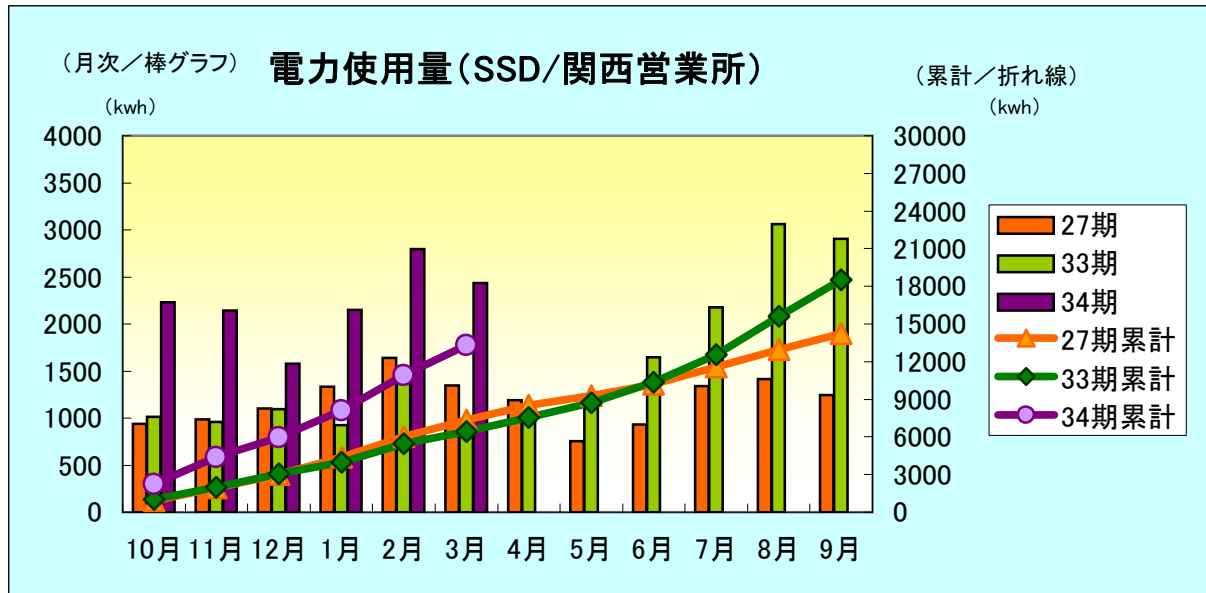


考察:

今年に入り、電力量が昨年を上回っています。
こまめな節電に、ご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

SSD(関西営業所)

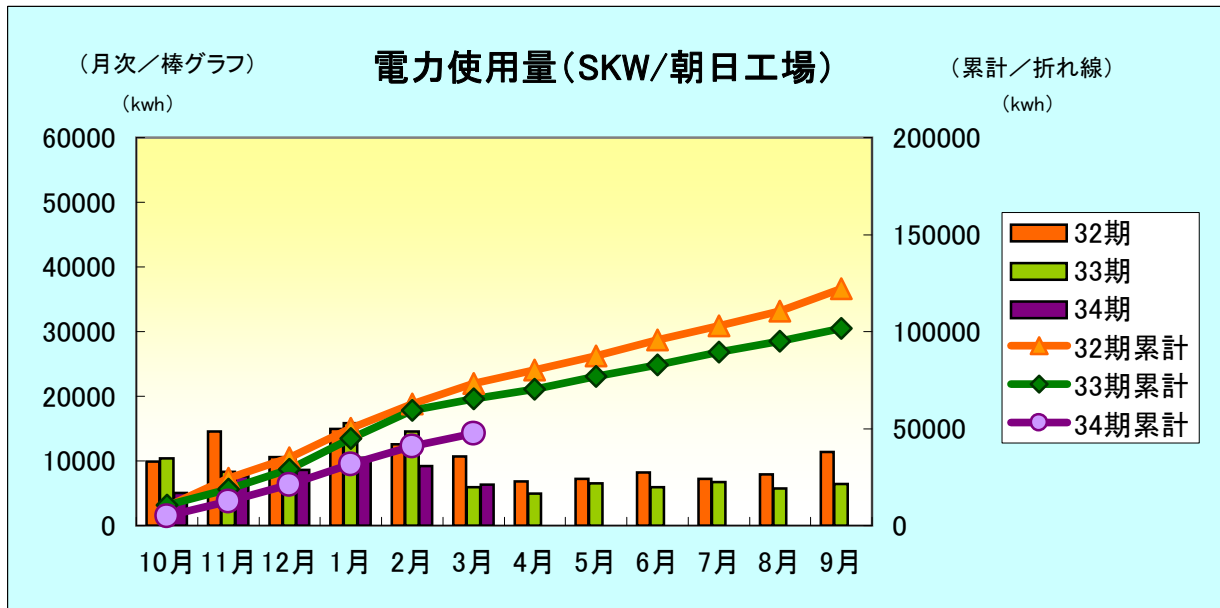


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SKW(朝日工場)

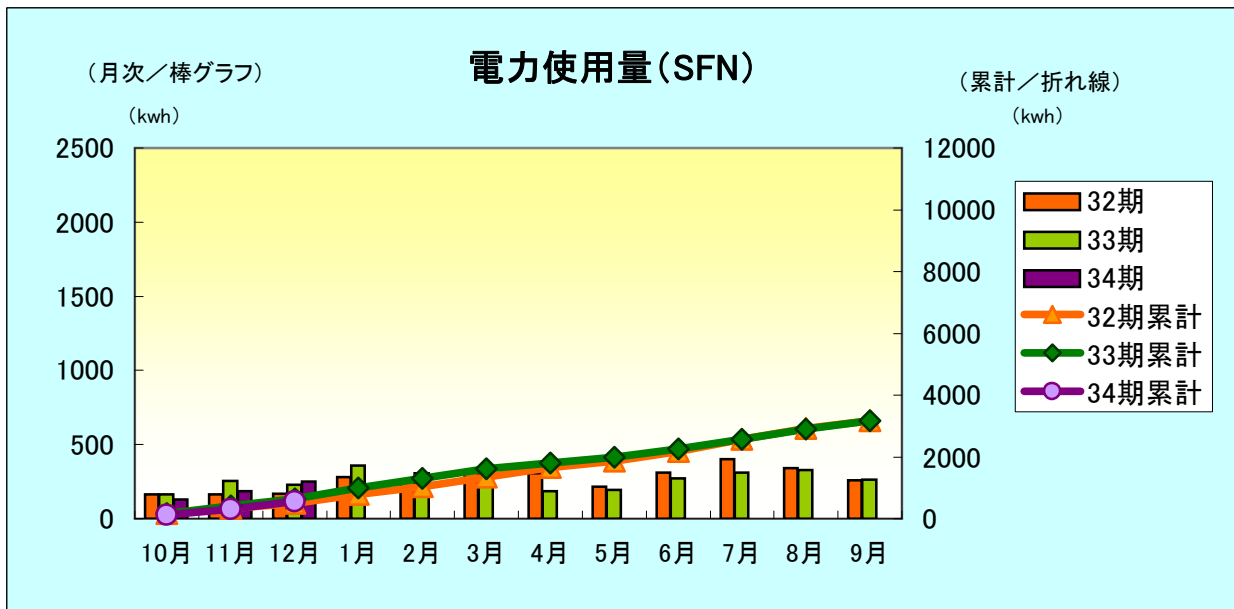


考察:

継続監視測定中

(事務局)

SFN



考察:

継続監視測定中

(事務局)